

2018年7月2日
LH18-03号
東京都墨田区本所1-3-7
ライオンハイジーン株式会社

特定非営利活動法人日本オゾン協会 「推進賞」を受賞
オゾンマイクロバブル応用食品野菜洗浄システムの開発・実用化

ライオンハイジーン株式会社（代表取締役社長・伏田 義博）は、オゾンマイクロバブルを用いた独自の野菜洗浄システムを開発・実用化し、オゾン技術の普及推進に貢献したことが認められ「推進賞」を受賞し、2018年6月21日（木）第27回年次研究講演会の第25回表彰式（於：広島大学）にて表彰されました。

■ カット野菜の多段階洗浄製法「フレッシュMiBO製法」

当社が開発した「フレッシュMiBO（ミーボ）製法」は、オゾンをマイクロバブル化する（Micro Bubble Ozone：MiBO）技術を活用した野菜キレイMiBOシステムを核とする、カット野菜の多段階洗浄製法で、「野菜へのやさしさ」「人へのやさしさ」「環境へのやさしさ」の3つのやさしさにこだわった洗浄製法です。本製法は、ライオン（株）の界面活性剤技術の活用によりカット野菜を低濃度のオゾンで殺菌、野菜本来の味を、よりフレッシュに保ちます。

■ 「推進賞」受賞理由

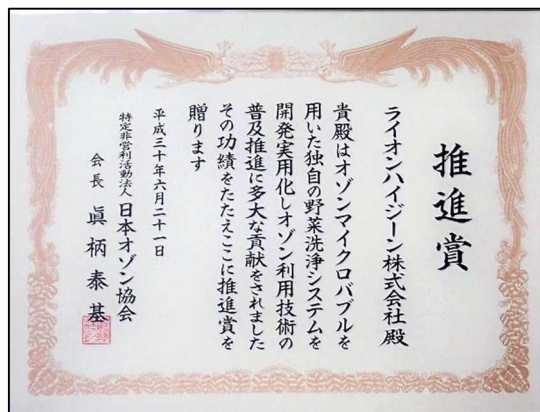
当社が開発した野菜洗浄システムは、2017年に大手食品工場に導入されました。このたび日本オゾン協会より、オゾンマイクロバブルを用いた独自の野菜洗浄システムを開発・実用化し、オゾン利用技術の普及推進に多大な貢献した功績として認められ、今回の「推進賞」受賞となりました。

表彰式は、第27回年次研究講演会期間中の2018年6月21日（木）に、広島大学にて執り行われました。



<表彰式のシーン>

特定非営利団体法人日本オゾン協会 眞柄 泰基 会長より
「推進賞」を授与される、当社 渡部 慎一主任研究員



<表彰状>

◆特定非営利活動法人日本オゾン協会

日本オゾン協会は、オゾンをさらに普及させること、オゾンに関する技術を高めることを目的に設立されました。このために、オゾン技術に関する講習会や年次研究講演会、各委員会を通じて、常に最新のオゾンに関する情報を提供しています。また、国際オゾン協会と連携し世界におけるオゾン技術の普及進展も図っています。設立より 2002 年まで任意団体として活動してきた当協会は、2002 年 2 月より「特定非営利活動法人(NPO 法人) 日本オゾン協会」として再スタートしました。

◆年次研究講演会 表彰式

特定非営利活動法人日本オゾン協会では、オゾン利用事業の発展または本協会の事業に貢献された個人、あるいはオゾン技術の進歩向上普及およびその健全な発展に貢献されその功績顕著と認められた個人、法人、を対象に例年表彰を行っております。表彰委員会により審査され、推進賞のほか、技術賞、功労賞、論文賞、論文奨励賞などが授与されます。

以 上

お問い合わせ窓口

＜報道関係の方＞ ライオン株式会社 コーポレートコミュニケーションセンター 03-3621-6661

本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせについては、ライオン株式会社でお受けいたします。

＜取引先の方＞ ライオンハイジーン株式会社 03-5819-7770